



産直ニュース（農・畜・水産）46週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。 生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 支所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
46週	富有柿①					ラ・フランス③			
	予約みかん⑤					ふじ①(茨木、豊能、奈良)			
47週	富有柿②					登録いちごA(!)			
	予約みかん⑥					ふじ①(香里、門真、平野、京都、滋賀)			
48週	登録いちごA(!)					予約みかん⑦			
	予約みかん⑦					ふじ②(全事業所)			
49週	登録いちごA(!)					予約みかん⑧			
	予約みかん⑧					ふじ③(全事業所)			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

配達品（中でも特に生鮮品）については、配達当日に異常が無いかを確認して下さい。

もし異常が発見された場合は、配達当日に担当事業所までご連絡頂きますようお願いいたします。

■ミンダナオ島（バラゴンバナナ産地）で地震発生

バラゴンバナナの産地の一つであるコタバト州マキララ町の近くを震源とする地震が発生。マグニチュード6を超える地震が10月16日(M6.3)、29日(M6.6)、31日(M6.5)と3度発生しました。マキララバラゴンバナナの出荷責任団体ドンボスコ財団の敷地や建物にも被害が発生。 →→ ドンボスコ財団のスタッフは全員無事ですが、バラゴン生産者の居住地では家屋倒壊も多く発生しけが人も出ており、多くの住民が避難生活を送っている様です。



ドンボスコ財団は、隣町の Bansalan（バンサラン）を拠点にして、他の 団体 と協力して緊急救援活動を展開し、ATPI（ネグロスのオルタートレード社）やAPLAでも救援物資や義捐金の送付を実施ししています。マキララからのバナナ出荷は暫く滞りますが、全体の供給量については問題ありません。

■46週配達「ながいも 1本400g以上 北海道・十勝なかよし会」

今週お届けの「ながいも」は予定していた規格の収穫量の減少のため、カット規格でお届けします。価格・栽培内容に変更はありません。以降、カタログに掲載しているものもカット規格でお届けします。

■じゃがいも の芽

九州地方のじゃがいもは、一般的に春～夏と秋～冬の2度収穫されます。現在お届けしているものは、春～夏に収穫したものを冷蔵庫に貯蔵し、順次出荷しています。貯蔵する事でデンプンが糖に変わり美味しさも増すと言われますが、秋になるとじゃがいもは子孫を残す為に芽が出やすくなります。『お届け後は出来るだけ冷蔵庫に入れて、光を当てないようにして保管して下さい。芽が出ていた場合には芽の部分をくり抜いてからご利用下さい。』

*新物のお届けは、12月前半には切り替わる予定です。

■ハケタ会災害支援活動

11月16～17も支援第五陣（総勢17名）が長野県に赴きました。被災から約1ヶ月が経過して作業は園地の清掃作業が主になってきました。園地には多くの漂着物（コンテナ類やマルチのビニール類、折れた樹や枝、はては冷蔵庫や車まで…と氾濫の威力を感じさせます。ゴミ置き場も山積み状態となっています。

